

第4回 松江市ガス事業経営検討委員会

平成18年7月28日（金）

午後1時30分から

松江市ガス局 会議室

【事務局】 配布資料については以下のとおり。

資料1 「松江市ガス事業の経営見通しの諸前提、損益計算書、
貸借対照表、キャッシュフロー計算書」

資料2 「前委員会の要望事項に対する回答」

【会長】 松江市情報公開条例に基づく委員会の公開等の確認

【事務局】 議題（1）松江市ガス事業の経営見通し、及び議題（2）公営ガス事業者の譲渡価格については、審議内容に企業経営上の正当な利害を害する恐れが含まれること、また委員の皆様の率直な意見の交換が損なわれる恐れがあることから、非公開情報であるとする。

【会長】 議題1の松江市ガス事業の経営見通し、および議題2の前委員会の要望事項に対する回答部分（公営ガス事業者の譲渡価格について）は、非公開とする。

— 以 下 非 公 開 —

この部分については、企業経営上の正当な利益を害するおそれが議事内容に含まれるため非公開とする。

— 以 下 公 開 —

【会長】 議題3、事業譲渡に伴う影響について。民営化問題が地域に与える影響について。

【委員】 地元の中小ガス会社の方との競合は避けられない。それにより価格低下あるいはサービスの向上が図られれば利用者にとってはいいが、他方で中小会社の方では経営環境が一層厳しくなる。

【会長】 ガス業界としてはいかがか。

【委員】 これまでも市営ガスとは連携体制をとってやってきたので、今後もその関係は維持していきたい。心配なのは電力。

【会長】 これからのエネルギー供給を考えると、ガスと電力双方のいいところをどう活かしながら、安全で安定的なエネルギーを供給するか。

【委員】 燃料電池などのことを考えると、これからはガス、電気ということではなく、エネルギー供給会社としてどのように生きていくかということ。

【会長】 いかがか。

【委員】 大事なことは、いま公営で行われているサービスと保安と安全計画が民営化後も維持されること。その上で地元とのつながりを大事にしていくことが必要。

【会長】 地元への影響をどう考えるか。

【副会長】 まず雇用の問題は答申に反映させる必要がある。その上で民間の努力に期待したい。

【会長】 いかがか。

【委員】 公益事業分野でスケールメリットが働かなくなっている。エネルギーも選択時代になっており、その中で松江ならではのサービス供給体制ができあがっていくことが理想。燃料電池のことなど将来の動向も十分踏まえる必要がある。また、現在割高な都市ガス料金とLPGガスとの適正な競争ということも重要な課題。そして安全問題。

【委員】 安全に関して自己管理はもちろん、チェック体制も強化している。

【事務局】 保安なくしてガス事業はない。全国の事業譲渡にはいろいろな事例があるが、松江市で事業譲渡した場合保安確保の問題がどうなるか、あるいは地元経済にどう影響するのかということを考えている。

【副会長】 手法はいろいろあると思う。安全をきちんと担保できる体制を組むことが大事。

【会長】 民営化でも公営の関与をどのような形で残すかという選択肢はある。

【委員】 それが松江型になるのかもしれない。どのようなフォーメーションでやれるかは一概には言えないが、安全性の観点からやはり核となる専門企業が必要ではないか。

【会長】 先行事例を見ても専門技術者をいかに養成し、保安体制どうつくっていくのが重要視されている。

次回はさらに譲渡、民営化の方向性について議論を進めたい。

【事務局】 第5回の委員会は9月5日午後1時半から開催する。

— 終 了 —